

『創る』を『共に』福岡の未来をひらく



ごあいさつ

福岡県工業技術センタークラブは、福岡県工業技術センターと連携し、会員企業による新技術・新製品の開発や販路開拓に取り組んでいる。人手不足や原材料価格の高騰、デジタル化の動きなど、企業を取り巻く環境は大きく変化している。それだけに高付加価値の製品開発、生産性向上による競争力の強化が求められる。同センターでは県内の各産業支援機関とも連携し、企業の成長・発展を後押しする。

所長

野見山 修治氏

福岡県工業技術センター



ごあいさつ

福岡県工業技術センタークラブは、福岡県工業技術センターと連携し、会員企業による新技術・新製品の開発や販路開拓に取り組んでいる。人手不足や原材料価格の高騰、デジタル化の動きなど、企業を取り巻く環境は大きく変化している。それだけに高付加価値の製品開発、生産性向上による競争力の強化が求められる。同センターでは県内の各産業支援機関とも連携し、企業の成長・発展を後押しする。

会長

小笠原 浩氏

(安川電機 会長)

福岡県工業技術センタークラブ

用いた、会員企業への生産性向上の取り組みを推進しました。

競争力強化には、技術的課題の解決に留まらず、さまざまな課題に対応していくことが必要となる場合があります。当センターでは、県内の各産業支援機関とも連携しながら、企業・士社に寄り添い、皆さまの成長・発展を支援してまいります。

今後同センタークラブでは、工業技術センターを中心に企業間を含む産学官の知の結合によるイノベーション創出を通じて、会員企業のさらなる発展に貢献できる組織として進化していくことを祈念いたします。

品が数多く開発され、会員企業の売上増加、事業発展につながっています。24年度には、会員企業と工業技術センターで共同研究が、技術部会活動28回を実施し、生産性向上研究会において、同センターが開発したIoT導入支援キットと、Braver JIG（福岡市西区）と同センターが共同開発したIoTモニタリングデバイス「Braver JIG」を

福岡県工業技術センタークラブは、福岡県工業技術センターと連携し、会員企業による新技術・新製品の開発や販路開拓に取り組んでいる。人手不足や原材料価格の高騰、デジタル化の動きなど、企業を取り巻く環境は大きく変化している。それだけに高付加価値の製品開発、生産性向上による競争力の強化が求められる。同センターでは県内の各産業支援機関とも連携し、企業の成長・発展を後押しする。

機械電子研究所

表面形状測定システム導入



表面形状測定システム

機械電子研究所は、「表面形状測定システム」(JKA補助)を導入した。同システムは接触部と非接触部から構成される。接触部は、上下に測定子を有するスタイルラス(針)を用いることにより、従来の表面粗さ、および形状測定に加え、部品の直径と角度の測定が可能。非接触部では、干渉法により薄膜の膜厚測定ができる。

インテリア研究所

企画から製品化までサポート



支援により開発された製品

インテリア研究所は企画段階から伴走支援を行い、企業の製品企画力向上を目指す「製品企画力高度化支援事業-NIKAWA」を実施している。基幹となる製品開発を目指す家具・工芸品メーカー2、3社に対し、研究所がコンセプト構築、デザイナーとのマッチング、製品化までを1年かけてサポート。7年間で20社を支援した。

生物食品研究所

香り豊かなクラフトビール開発

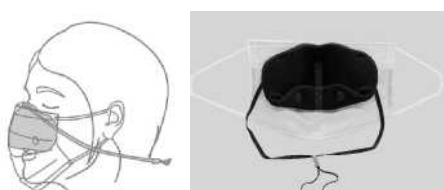


開発したクラフトビール「酒麦(しめく)エール」

ギャランドゥ(福岡県久留米市)との共同研究により、清酒の特徴を有するクラフトビールを開発した。独自に育種したカブロン酸エチル高生産酵母を用いて吟醸香が基調となる酒質を設計。さらに清酒醸造技術を応用した新規醸造方法の構築により、ビール醸造時に清酒酵母の発酵性が低下する課題を解決した。

化学繊維研究所

防臭インナーマスク開発



不織布マスクを併用した装着図(左)、防臭インナーマスク(右)

博有(福岡県直方市)が開発した防臭フィルターを使ったマスクを共同で開発した。通常のマスクよりも鼻を包み込み、かつコンパクトになる立体設計を考案した(意匠登録1787790)。この開発では防臭性だけでなく、会話がスムーズにできるなど優位な快適性があり、煮沸しても維持できる防臭機能などを明らかにした。



昨年度のシンポジウム

先端技術シンポジウム 来月24日開催

共同製品開発事例を口頭発表

福岡県工業技術センタークラブは「Braver JIG」を紹介する。また、シンポジウムの4つの技術部会(ナノテク・材料、バイオ、デザイン、機械・電子)から、会員企業と工業技術センターの共同製品開発事例を口頭発表する。さらに会員企業の技術や成果事例、工業技術センターのシーズ技術などのポスター発表も行う。連携・共創につながる技術・人材交流の機会とする。

福岡リーセントホテル(福岡市東区)

輸送品質と輸送効率の技術パートナー

株式会社 矢野特殊自動車

本社・工場 〒811-0123 TEL: 092-963-2001 (直通)
福岡県糟屋郡新宮町上府北4丁目2番1号 <https://www.yano-body.co.jp/>

九州計測器株式会社

産学官を繋ぐ「計測」パートナー

TEL: 092-441-3300 MAIL: support@qk-net.co.jp
拠点: 福岡、北九州、大分、熊本、鹿児島、長崎

たしかな技術で切り拓く未来

各種高機能ゴム製品
塩ビ、EVAなどの樹脂製品

Techno-Tsukihoshi

株式会社テクノ月星 代表取締役社長 柿永 正利
福岡県うきは市浮羽町高見215
TEL: 0943-77-2141 FAX: 0943-77-6949
<http://www.techno-tsukihoshi.co.jp>

分析試験を通じて「健康と安全」をサポート

一般財団法人 日本食品分析センター

現場を強くする。
Gets The Shop Floor Stimulated

株式会社C&Gシステムズ

C&G 検索 www.cgsys.co.jp

つながる「時間」
つながる「工数」
見える「進捗」
見える「実績」

金型・部品製造に特化したIoTソリューション

“診る”を究めて

新日本非破壊検査株式会社

営業本部 〒803-8517 北九州市小倉北区井堀4丁目10番13号
TEL: 093(581)1234 FAX: 093(581)4567
<https://www.shk-k.co.jp> e-mail: eigy@shk-k.co.jp

東京営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-19
aLATO日本橋小伝馬町 3階
TEL: 03(6661)1307 FAX: 03(6661)1308
e-mail: tokyo@shk-k.co.jp

各支社・営業所・出張所 関東、千葉、長崎、関西、大分、相生、延岡、戸畑、上越、諫早、松浦、名古屋、敦賀、福岡、大分東

熱交換器細管 Uベンド部検査装置

U-MAT
Nondestructive Access Technology into the U-bend

新規考案の回転機構を搭載し、管内面からUベンド部全面の肉厚測定を実現。弊社UTとの併用により直管部を含めた細管の全長測定が可能。

福岡県工業技術センタークラブ

共創して目指そうオンリーワン!

クラブ会員募集中! (会員数: 268機関)

当クラブは、会員企業と福岡県工業技術センターとの「連携・共創」による技術開発や密接な情報交換を通して、ものづくり企業の競争力強化や販路拡大を目的に活動しています。
(会長: 安川電機 代表取締役会長 小笠原 浩)

ナノテク・材料技術部会
繊維・有機・金属材料等
デザイン部会
デザイン・木質材料・住環境等

バイオ技術部会
食品・バイオ等
機械電子技術部会
金属加工・CAD・CAE・EMC・IoT等

事務局 TEL: 092-925-7400 FAX: 092-925-7724 E-mail: c.club@fitc.pref.fukuoka.jp
URL: <https://www.fitc.pref.fukuoka.jp/center-club/>

人とロボットが共存した新たなモノづくりの実現

YASKAWA

北九州市八幡西区黒崎城石2番1号 安川電機 検索 株式会社 安川電機

社会の持続的発展に向けたメカトロニクス技術の応用

省エネ・環境負荷の低減
植物工場の自動化・省力化
再生可能エネルギーの普及
医療・バイオメディカルへの貢献

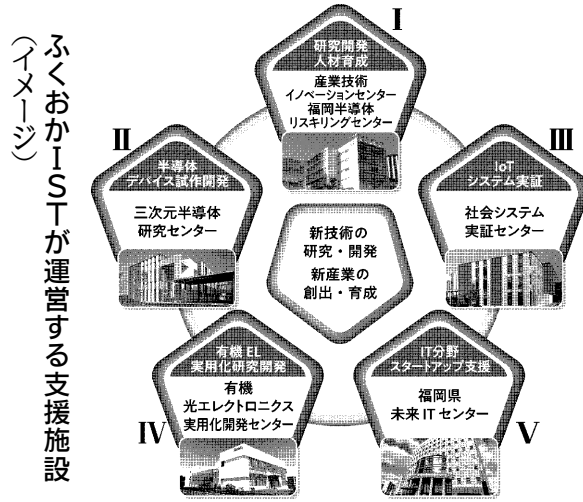
原動力は北九州。動かすのは世界。

人と同じ空間で協働して作業を行える「人協働ロボット」

産学官 知の融合

福岡県の産学連携を強力に推進するのが、企業支援機関だ。開発や事業化を後押しする豊富なノウハウと実績を備え、さまざまな連携に大きな成果をもたらしている。社会のニーズや課題が多様化、複雑化し、単独での取り組みで成果を上げることが難しくなる中、その役割は大きい。

福岡半導体リスクリングセンターで講座



福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおかIST、福岡市早良区）は、技術開発や人材育成支援による成長産業の創出や育成を行う。国や県、民間の資金などを活用し、これまでに900以上の研究開発プロジェクトを支援しており、中小企業庁の「Google hナビ」では、全国130支援機関中、支援実績第5位、事業化実績第3位である。半導体業界に精通したアドバイザーが取引拡大や技術向上の助言を行うほか、半導体製品開発を支援する。

「福岡半導体リスクリングセンター」では、企業ニーズに基づいて半導体を作る側と使う側で講座体系を分類。入門から上級編まで「対面」「オンライン」「eラーニング」で多数の講座を提供し、開設から約2年で1万人以上が受講している。

福岡県産業・科学技術振興財団

学研都市で半導体産業を振興



クリーンルームの体験実習などを通じて人材育成にも取り組んでいる

北九州産業学術推進機構（FAIS）は、北九州府若松区の北九州学術研究都市（学研都市）において、産学連携による新事業創出の支援を行っている。学研都市は理工系の1学部4大学院が一つのキャンパスに集積し、半導体の設計から評価までの研究開発機能を有した施設も備えている。

FAISは北九州市とともに、同地域の半導体産業の振興を目的に「北九州半導体ネットワーク」を運営しており、2025年5月現在、120社以上の企業が加盟している。同ネットワークでは企業間マッチングや交流イベントなど「販路開拓」のほか、クリーンルームの体験実習や半導体基礎講座などの「人材育成」など、さまざまな取り組みを進めている。

北九州産業学術推進機構（FAIS）

バイオ産業創出へ研究開発から販路開拓まで



インキュベーション施設など支援が充実している久留米リサーチ・パーク

久留米リサーチ・パーク（福岡県久留米市）は、福岡県、久留米市と連携し、バイオ関連産業を集積させる取り組みを推進している。その取り組みが評価され、2021年に国から「地域バイオコミュニティ」（福岡バイオコミュニティ）に認定。「創業」「再生医療」「バイオものづくり」「機能性表示食品」などの研究開発、実証事業に加え、インキュベーション施設提供、投資環境の整備、人材育成、販路開拓など一貫したベンチャー育成支援を進めている。

また、近年は福岡においても民間資本の支援組織参入やインキュベーション施設建設などが進んでいることから、これらとも連携しながらバイオ関連企業が成長・発展できるエコシステム構築への取り組みを進めている。

久留米リサーチ・パーク

地域のリーディング産業を育成



IoT導入実践講座

飯塚研究開発機構（福岡県飯塚市）は、筑豊地域における新産業・新技術の創造支援拠点として企業の研究開発支援や人材育成などを展開している。

モノづくり企業の発展のためコーディネーターを配置し、技術課題の解決や技術高度化、新技術・新製品の開発から事業化まで企業に寄り添ってきめ細かく支援する。

また、モノづくり企業の中核を担う人材の育成・確保を支援するため3次元設計、金型めっき、生産・品質関連の講座を実施。さらに、中小企業の現場技術者を対象に、デジタル化に向けた知識の習得および現場に則したガイダンスセミナーやIoT導入実践講座などを実施することでも、モノづくり中小企業のデジタル人材を育成し、地域のリーディング産業を育成する。

飯塚研究開発機構

自動車サプライヤーに電動化対応を支援



貸し出しにも対応するEVの分解部品

福岡県中小企業振興センター（福岡市博多区）は、自動車サプライヤーの取引拡大や競争力強化に向けた取り組みを進める。CASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）と呼ばれる技術革新で電動化分野への支援が急務となる中、経済産業省の「ミカタプロジェクト」の委託を受け、2022年7月、九州地域の支援拠点「自動車関連企業電動化参入支援センター（電動化センター）」を設置した。

電動化センターでは、セミナーなどを通じて自動車産業に関する最新情報の紹介をはじめ、実物の電気自動車（EV）パーツの常設展示・貸し出し、自動車に関する豊富な知見を持つコーディネーターによる相談対応、自動車サプライヤーのさまざまな課題に応じた専門家派遣などをすべて無料で提供する。

福岡県中小企業振興センター

九州・大学発ベンチャー振興会議、事業化支援



2月に開催された第9回九州・大学発ベンチャー振興会議

九州オープンイノベーションセンター（KOIC、福岡市博多区）は、九州一円を活動エリアとする産業支援機関として、多岐にわたる事業を展開している。

活動の一つとして「九州・大学発ベンチャー振興会議」の事務局を九州経済連合会、FEGベンチャー・ビジネスパートナーズ（同中央）と共に務める。

このほか、次代を担う「ネクストリーダー」塾の開催など人材育成にも力を入れている。同会議では、大学発ベンチャー創出のため、会員が大学の研究にギャップ資金（1口50万円）を拠出して研究成果の事業化を支援する。アントレプレナーシップの醸成にも注力しており、趣旨に賛同する会員は年々増加している。

九州オープンイノベーションセンター

一般財団法人

九州オープンイノベーションセンター

〒812-0013
福岡市博多区博多駅東二丁目13-24
TEL(代表)092-411-7391 <https://www.koic.or.jp/>

KOIC
KYUSHU OPEN INNOVATION CENTER

九州から世界へ!!
イノベーションの架け橋をつなぐ!!

参加無料

福岡バイオコミュニティフォーラム2025

「福岡バイオコミュニティフォーラム」を下記のとおり開催いたします。ご参加のほどお待ちしております。

展示会	12:00~13:00	13:00~16:40
福岡バイオコミュニティフォーラム	12:00~13:00	13:00~16:40

特別講演「Preferred Networks マテリアルと創薬担当VP 小澤 俊一氏」
福岡県から米国へ・小児・希少疾患の医薬品開発
後援：FUKUOKA BIOCOMMUNITY 代表取締役 園田 一郎氏

・ちくぎんバイオベンチャー・研究開発大賞表彰
・支援企業の取組事例紹介
・第3回 FBCAP Innovation Event 最優秀者紹介
・交流会 17:00~18:30

入居者募集 インキュベーション施設で研究開発を始めませんか？
研究施設 ①福岡バイオインキュベーションセンター 50㎡ 詳細情報 ②福岡バイオファクトリー 100㎡ ご相談はこちらから

福岡バイオコミュニティ
FUKUOKA BIOCOMMUNITY
～世界の健康の未来を創る、バイオビジネスを福岡・久留米から～

飯塚研究開発機構 ～募集中のイベント～

受講無料 ※詳細は、当機構HPをご覧ください

「デジタル設計オープン講座」 8/5(火)13:00~16:00

講演1 ICT・IoT時代のデジタル設計 ～小水力発電システムの開発を例にして～
西日本工業大学 客員教授 野中 智博氏

講演2 データを活かす見える化技術～流れやひずみを捉える計測と解析～
福岡県工業技術センター機械電子研究所 主任技師 村田 顕彦氏

「IoT導入実践講座」

IoTの基礎知識の学習、自社工場でのトライアル導入による見える化の体験、IoT測定されたデータの分析力や検出力の養成を行います。
IoT測定されたデータの分析力や検出力の養成を行います。
【基礎編】4日間(8/19(火)、8/26(火)、9/2(火)、9/9(火))
【実践編】3日間(9/30(火)、10/7(火)、11/11(火))
【データサイエンス編】4日間(11/26(水)、12/3(水)、12/10(水)、12/17(水))

公益財団法人 飯塚研究開発機構
〒820-8517 福岡県飯塚市川津680-41 TEL 0948-21-1150 FAX 0948-21-2150 (財団HP)

九州最大のEMCサイト 直報産業振興センター

ADOX
Fukuoka

電子・電気機器の電磁両立性試験（EMC）を行う直報産業振興センターEMCサイト
九州最大規模で、本格的なEMC認証試験ができる九州唯一の施設

※技術者募集中！（正職員・嘱託員 数名）

【主な業務内容】
・企業へのEMC試験設備の貸出
・試験の受託、試験報告書発行
・技術アドバイザー、技術研修

直報産業振興センター ADOX福岡 EMCサイト
運営：一般財団法人 直報情報・産業振興協会
福岡県直方市植木1245-2 TEL 0949-29-1400 EMCサイト

公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団

産業技術イノベーションセンター

研究開発・製品化支援（産学コディネートプログラム）
✓産学官連携による研究開発を推進し、新技術・新製品の創出まで伴走支援します。お申込みください。

ベンチャー企業支援
✓広さ豊富なインキュベーションルーム（55室）
✓本店登記OKなシェアードオフィス（20室）

半導体産業参入・研究開発支援
✓半導体分野参入・取引拡大のアドバイザー支援
✓研究開発補助金（半導体後工程）募集中

公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団
〒814-0001 福岡市早良区百道通3-8-33 ■産業技術イノベーションセンター
TEL 092-832-7155 ken1@ist.or.jp

公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団

福岡半導体リスクリングセンター

半導体「作る・使う」を学ぶ R5-6受講者数 10,248名

福岡県内中小企業の方は受講料全額補助!!

7/9(水) よくわかる 半導体超入門ⅡⅢ 申込4,400円

7/11(金) CMOS イメージセンサー基礎 申込33,000円

対面講座、オンライン講座、eラーニング講座
各講座・セミナーの詳細はこちらから
<https://reskilling.ist.or.jp/seminarall/>

入門～上級 62講座 提供中

公益財団法人 福岡半導体リスクリングセンター
TEL 092-822-1550 reskilling_contact@ist.or.jp

九州全域の自動車関連企業をご支援します

こんなお悩みありませんか？
・電動化対応に乗り遅れないために、何をすべきか悩んでいる
・事業転換に向けて、自社技術がどのように対応できるか考えたい
・電動化分野に新規参入したい！
・電動車においてどのような部品が必要となるのか知りたい

こんなご支援ができます
セミナー
電動化やカーボンニュートラルの最新情報をご紹介
EVパーツギャラリー見学・部品貸出し
電動車分解部品を常設展示・ご要望に応じて貸出し可
専門家派遣
年度5回まで 無料
窓口相談

出前電動化道場 開催予定!
～電動車の部品を分解して展示、電動車部品の講演を行います～
8/29(金)【会場】熊本城ホール大会議室A3(熊本中央区桜町3番40号)
9/4(木)【会場】直報産業振興センター(ADOX福岡別館)研修室
※同日とも13:30~15:50 (国方市大字植木849-1)

電動車のLEAF、ARIYA、SAKURA、NOTE、知能化技術のプロパイロットの開発・量産を実現
柳原 秀基 氏
元日産自動車(株) 専任生産技術開発本部 技術者

お問い合わせ窓口 092-402-5001 (受付時間 10時~16時)

自動車関連企業電動化参入支援センター 九州地域支援拠点
事務局：公益財団法人 福岡県中小企業振興センター
所在地：〒812-0046 福岡県福岡市博多区吉原本町9-15
mail: dendouka@joho-fukuoka.or.jp
URL: <https://www.joho-fukuoka.or.jp/ev.html>

半導体産業を産学官一体で支援

- ◆大学の先端技術を生かした産学連携による研究開発
- ◆120社を超えるネットワークによる企業間の交流・連携
- ◆人材育成、販路開拓、補助金獲得の徹底サポート

G-CITY Kitakyushu Science and Research Park
お問合せ（公財）北九州産業学術推進機構（FAIS）
〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-1 北九州学研都市

クリーンルームを備え、半導体の設計・試作から評価・検査まで一貫した研究や教育に利用できる「共同研究開発センター」

ROSABI
Provide No.1 Value to Customers Worldwide

黒崎播磨グループは世界のものづくりのために
黒崎播磨は創業から100年以上、耐火物を進化させてきました。
煮えたる鉄、真っ赤になったセメント、灰になるまで燃やす焼却炉。
黒崎播磨の耐火物はそんな苛酷な環境にもじっと耐え、世界中で産業を支えています。

耐火物事業
ファーンズ事業
セラミックス事業

ホームページはこちら